

平成 31 年度

法人運営事業計画

社会福祉法人

わらしべ舎

社会福祉法人わらしべ舎（以下「当法人」という。）は、当法人が持つ自主性や創造性を発揮しながら、地域社会における様々な課題に向き合い、地域から信頼され、障害のある人も、ない人も、地域の中で共に生きることを実現するために下記の事業内容について取り組みます。

1. 第二施設開設に向けた取り組みを推進します。

- ・仙台市における施設整備事業計画に応募するため、プロジェクトチームによる応募計画書の作成と第二施設における運営及び事業内容等の検討を行います。
- ・第二施設開設までにおける羽黒台の土地の有効活用等について検討します。

2. 現在の事業における支援体制等の充実を図ります。

- ・当法人のサービス提供事業である生活介護事業、就労継続支援B型事業、共同生活援助事業、レスパイト事業について、支援体制の充実を図り、利用者が安心してサービスを受けられるようにしていきます。
- ・利用者一人ひとりのニーズを把握しながら、そのニーズに即した支援を行うとともに、利用者の権利と人権を守り、意思を尊重した支援に努めます。

3. 職員の専門性を高める研修や資格取得の奨励を推進します。

- ・質の高い福祉サービスを提供するために、研修（内部・外部）体制の充実を図り職員の専門性と高い資質及び支援技術の向上に努めます。
- ・職員個々のスキルアップのための資格取得を積極的に奨励し、人材育成に努めます。

4. 組織運営と経営基盤の強化を図ります。

- ・信頼される法人、施設を目指し、コンプライアンスを基本に事業運営については常にその状況を把握しながらリスク管理の徹底と事故防止に努めます。
- ・会計事務所による指導、助言に基づいて、計画的な予算執行と財務管理を行いながら経営基盤の強化に努めます。

5. 関係団体との連携・協働を図ります。

- ・各種団体と連携を図りながら地域福祉活動の推進に努めます。
- ・関係団体と連携・協働し、共通する福祉課題等に対し要望・提言をしていきます。

平成 31 年度

事業活動計画

社会福祉法人

わらしべ舎

生活介護事業

<事業方針>

- 利用者が持っている力を発揮できるよう支援する
- 利用者が地域社会においてよりよい生活が送れるよう支援する
- 利用者が健康で安全に過ごすことができるよう支援する
- 利用者が作業や活動にやりがいや自信を持てるよう支援する
- 利用者が自分で選択し、好きなことを楽しめるよう支援する

<2019 年度の重点目標>

- ①余暇活動の多様化を図る
- ②売上向上に向けた商品開発と委託作業拡大を図る
 - ・下請け作業、委託作業を積極的に取り入れていく
- ③新職員育成及び現職員の支援力向上の強化を図る

<実施計画・内容>

- ①個々のペースで過ごせる環境づくりを行う
- ②デザイナーの協力を得ての商品開発を行う。
 - ・ネット通販やインターネットを活用した売込みを積極的に行う
- ③職員同士の情報共有、意思確認等を行うミーティング実施
 - ・研修会へ積極的に参加し、職員への共有を図る

<利用者状況>

生活介護事業 (エコ班)	実人数（定員）		男女構成		年齢構成（平均：34.7歳）			
	24人（20人）		男	女	10代	20代	30代	40代
			12人	12人	2人	5人	10人	7人
	支援区分構成（平均：4.7）						療育手帳	
	1	2	3	4	5	6	A	B
			1人	9人	7人	5人	21人	1人

※4月入舎予定2名の利用者の支援区分と療育手帳は未定のため含まれておりません

<支援体制>

施設長	サービス管理責任者	生活支援員	看護師
1人（兼務）	1人（兼務）	8人（1名兼務）	1人

就労継続支援B型事業

＜事業方針＞

- 利用者の能力と意欲を尊重し、所得の向上を目指した作業の確保と生産に努める
- 利用者が心身ともに健康で過ごせるように努め、また自立した地域生活が送れるよう支援する
- 安心・安全な食の提供ならびに製造業務を行うために、衛生管理・事故防止の徹底に努める

＜2019年度の重点目標＞

- ①利用者自身で取組める作業環境作りと支援を行う
- ②利用者が働くことや自立することに対する意欲を育てる支援を行う
- ③利用者工賃アップのため、サービス内容向上と広報活動を行う
- ④積極的に地域貢献活動を行う
- ⑤食品衛生管理の徹底を行う

＜実施計画・内容＞

- ①販売において、利用者自身で接客、会計業務ができるシステム作り（カレー班）
- ②作業工程等についての利用者ミーティングを行い、作業についての理解を深める機会を作る（石けん班）
 - ・接客サービス向上のための研修会の実施（カレー班）
- ③見学等の団体客をホームページやチラシを利用して積極的受入
 - ・新商品の開発（キーマカレー、カレーうどんペースト）（カレー班）
 - ・保育所等へサンプル石けんを配布し、広報活動の実施（石けん）
- ④286号線歩道の清掃活動（カレー班）
 - ・天沼浄化活動への参加
- ⑤年4回衛生講習会の実施（カレー班）

＜利用者状況＞

就労継続支援 B型事業 (石けん・ カレー班)	実人数（定員）		男女構成		年齢構成（平均：35.5歳）			
	26人（20人）		男	女	10代	20代	30代	40代
			18人	8人	1人	5人	13人	7人
	支援区分構成（平均：）						療育手帳	
	未判定	2	3	4	5	6	A	B
	1人	3人	8人	11人	2人		15人	10人

※4月入舎予定1名の利用者の支援区分と療育手帳は未定のため含まれておりません

＜支援体制＞

施設長	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員
1人（兼務）	1人（兼務）	4人	3人	1人

共同生活援助（グループホーム）事業

＜事業方針＞

地域との関係を築きながら、入居者が安定した自立生活を送れるよう支援する

＜2019年度の重点目標＞

- ①余暇の充実を行う
- ②各ホームのサービス内容確立を行う
- ③グループホームの稼働率を上げる
- ④支援者のスキルアップを行う
- ⑤緊急支援体制の確立を行う

＜実施計画・内容＞

- ①休日を充実して過ごせるよう体制作りとサービス（移動支援）活用の促進
 - ・地域行事等へ積極的に参加
- ②入居者ごとの自立生活に向けた支援方法の土台作り
- ③安定した支援体制の確保
 - （積極的な募集 ・働きやすい環境整備）
 - ・入居者へ休日のホーム利用の働き掛け
- ④法人内部で人材交流を図り、お互いに学び合う機会を作る
- ⑤休日も含めた担当職員同士の連携作り
 - ・日中活動職員も含めたバックアップ体制作り

＜グループホーム入居者状況＞

ホーム名	開所年	定 員	年齢構成	平均年齢	区分構成	療育手帳
ハーモニー金剛沢 （男 性）	平成 20 年 8 月	4 人	30 代（1 人） 40 代（3 人）	40 歳	区分 4（2 人） 区分 3（2 人）	A：4 人
ハーモニー山田・北前 （女 性）	平成 26 年 10 月	4 人	20 代（2 人） 30 代（2 人）	29.5 歳	区分 4（2 人） 区分 3（1 人） 区分 2（1 人）	A：2 人 B：2 人
ハーモニー西の平 A （男 性）	平成 29 年 11 月	10 人	30 代（5 人） 40 代（4 人） 50 代（1 人）	40.5 歳	区分 6（2 人） 区分 5（3 人） 区分 4（5 人）	A：10 人
ハーモニー西の平 B （女 性）	平成 29 年 11 月	10 人	20 代（1 人） 30 代（4 人） 40 代（4 人） 60 代（1 人）	42 歳	区分 6（1 人） 区分 5（4 人） 区分 4（3 人） 区分 3（2 人）	A：9 人 B：1 人

＜支援体制＞

管理者	サービス管理責任者	世話人兼生活支援員	職 員
1 人（兼務）	1 人	19 人	2 人

<事業方針>

在宅の障害者（児）に対し、手軽に利用できる介護サービスを提供することにより、在宅の障害者(児)及びその家族の地域生活を支援する

<2019年度の重点目標>

- ①利用者が安心して過ごせる環境づくりを行う（継続性のある人材確保・育成を行う）
- ②介護実績時間を増やすとともに、新規利用登録者を増やす

<実施計画・内容>

- ①他事業所と連携して、職場見学・説明会の実施
 - ・大学、専門学校への積極的な働きを実施
 - ・レスパイト事業共同ブログの活用
 - ・介護人を対象とした研修会の実施

②目標介護実績時間・登録者数

		内 訳
介護時間	3000 時間	日中介護：1000 時間 宿泊介護：1500 時間 外出介護：80 時間 自宅介護：20 時間 送迎介護：400 時間
登録者数	45 名	

- ・担当職員の配置と介護人確保により、受入を増やしていく
- ・法人内利用者の利用の促進

<利用登録者>

	法人内	法人外	計
利用登録者数	1 7 人	1 8 人	3 5 名

<支援体制>

管理者	サービス管理責任者	担当職員	介護人
1 人（兼務）	1 人	1 人	6 人（※）

※介護人はグループホーム支援者や日中活動支援者が兼務